

## 1. 研究主題

### 共に学びを拓く子の育成

～ 主体的・対話的で深い学びの実現をめざして ～

## 2. 主題設定の理由

本校では、過去の基礎学力調査、全国学力・学習状況調査の結果から、叙述に即して確かに読み取る力や思考力を働かせて主体的に読み取る力など、「読むこと」に課題が見られた。

そこで、本校の課題を克服するために、一昨年から国語科の「読むこと」の研究に取り組んできた。一昨年は「説明的な文章」を中心に「児童の意欲を高める課題の工夫」と「学んだことを実感できる振り返る活動の充実」に重点を置いて研究に取り組んだ。更に「読むこと」の幅を広げるために、昨年度は「文学的な文章」で「児童の主体的な思いを重視した課題解決の工夫」と「必然性のある交流の時間や場の設定」を取り組みの柱として実践を行ってきた。さらに、小松市学力向上パートナーシップ推進事業の指定を受け、連携校と互いの授業を見合うことで、授業実践が深まってきた。

しかし、「単元の初めから終わりまで意欲を持って取り組むことが難しい」と「考えや思いが広がったり深まったりする交流に迫れなかった」ことが課題として見られた。その課題を解決するためには、単位時間の学習のねらいが単元のゴールとどのようにつながっているのかということを経験自身が理解することが必要であると考えた。また、教師が単元で付けなければならない力を明確にして授業することも大切になってくる。

そこで、今年度は研究主題を「共に学びを拓く子の育成」、副題を「主体的・対話的で深い学びの実現をめざして」とし、「児童と共に作り上げる授業づくり」や「考えが広がったり、深まったりする交流の場の設定」の2つの柱を意識して授業実践を進め、国語科における言語活動の充実をさらに図りながら、深い学びを重視した国語科の授業づくりを通して主題に迫ることとした。

## 3. 研究の重点

(1) 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり

①児童と共に作り上げる授業づくり

- ・単元を見通して、つきたい力を明確にした学習計画づくり
- ・学習意欲を高める課題の工夫
- ・授業の課題を把握した授業改善

②考えが広がったり深まったりする交流の場の設定

- ・単元を見通した適切な交流
- ・交流する目的を明確にした学習形態の工夫
- ・多様な考えを引き出したり、個々の考えを深めたりする手立ての工夫

## (2) 学力・学習を支える基盤づくり

### ①お互いを認め合える学級づくり

- ・聴くポイントを明確にして聴き手を育てる
- ・授業の見る視点を共有して授業交流を行う

### ②チャレンジタイムの取り組み

- ・読解力をつける（読解力ノート）
- ・活用力をつける（活用問題プリント）

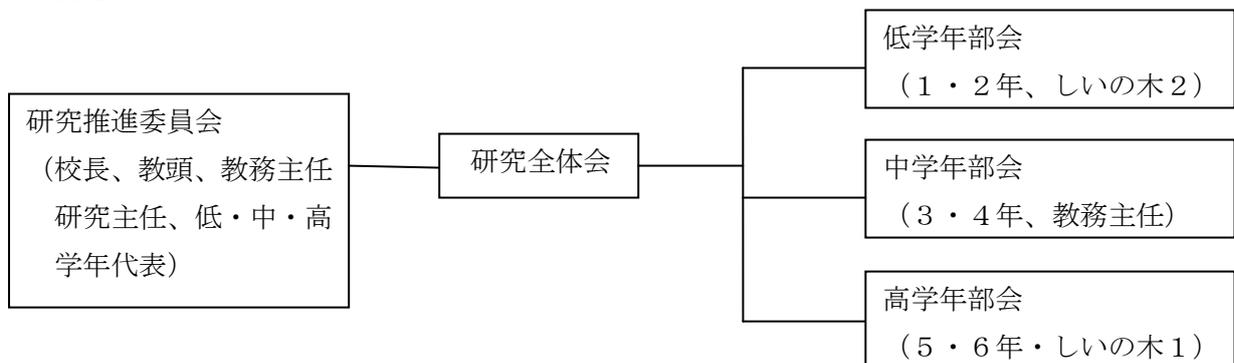
### ③読書活動の充実

- ・言葉を増やしイメージを広げる朝読書や読み聞かせ
- ・ジャンルが広がり多読につながる並行読書

### ④表現活動の工夫

- ・各学年による音声発表の設定
- ・集会などで意見を伝える場の工夫

## 4. 研究組織



### ○研究推進委員会

- ・研究推進のための原案作り（理論作り、研修会の企画など）や研究の方向や進め方を提案し、各部会の連携を図りながら実践を進める。

### ○全体会

- ・全体協議の場で、研究の進め方について共通理解を図り、研究の方向性を決定する。
- ・模擬授業、研究授業の指導案検討、授業整理会などを行う。

○低・中・高学年部会

- ・教材研究、児童の実態把握、指導案の検討をする。
- ・研究の重点を具現化するための手立てや工夫を考える。

## 5. 研究の方法

- ①研究推進委員会が中心となり、各部会との連携を図りながら実践を進める。
- ②全体会・研修会を開き、共通理解を図りながら進めていく。
- ③研究授業を行い、実践を深めていく。
- ④日頃から授業を見合う機会を持ち、日々研鑽する。
- ⑤他校視察を行い、指導に生かしていく。
- ⑥学力向上パートナーシップ推進事業における連携校と共同研究を行う。

## 6. 研究計画

	月	内 容
一 学 期	4	研究の基本計画（主題、副題、内容、方法、組織、研究計画）の決定 5年授業によるモデル授業（授業のきまり4カ条）
	5	研究全体会（今年度の重点についての共通理解・指導案について） 第1回学力向上パートナーシップ推進事業合同研修会（県サポート事業） 提案授業（1年） 6年児童によるモデル授業（研究の重点について）
	6	高学年部会（5年指導案検討） 計画訪問 研究授業（5年）・授業整理会 公開授業（特別支援学級）
	7	中学年部会（4年指導案検討） 研究全体会（4年模擬授業） 研究授業（4年）・授業整理会
	8	学年部会（1学期の取り組みについての振り返り） 研究全体会（1学期の振り返り及び2学期の方向性について） 校内研修会 学力向上パートナーシップ推進事業各部会（合同研修会に向けて） 第2回学力向上パートナーシップ推進事業合同研修会（樺山先生を迎えて）
二 学 期	9	学年部会（2年指導案検討） 研究全体会（2年模擬授業） 研究授業（2年）・授業整理会

	10	低学年部会（1年指導案検討） 研究全体会（1年模擬授業・要請訪問） 第3回学力向上パートナーシップ推進事業合同研修会（樺山先生を迎えて）
	11	高学年部会（6年指導案検討） 研究全体会（6年模擬授業） 要請訪問 研究授業（6年）・授業整理会 公開授業（特別支援学級） 中学年部会（3年指導案検討）
	12	中学年部会（3年模擬授業） 研究全体会（3年）・授業整理会 学年部会（2学期の振り返り） 研究全体会（2学期の振り返り・3学期に向けて）
三 学 期	1	学年部会（研究の成果と課題） 研究全体会（研究のまとめ・今年度の成果と課題）
	2	研究全体会（今年度の総括及び次年度の方向性について） 第4回学力向上パートナーシップ推進事業合同研修会（樺山先生を迎えて）
	3	研究全体会（次年度の研究準備）